

平成30年度第4回印西クリーンセンター環境委員会

会議録（概要版）

1. 期 日 平成31年 3月 2日（土）午前10時から12時まで

2. 場 所 印西地区環境整備事業組合3階大会議室

3. 委員出欠状況

☆甲（ 9名中 8名出席）

- | | | | |
|-------------|-------------|----------------|-------------|
| 1. 組合 事務局長 | 高 橋 清 | 6. 印西CC 施設班 | 海老原 雅 美 |
| 2. 組合 庶務課長 | ○欠席 | 7. 印西市クリーン推進課長 | 伊 藤 章 |
| 3. 印西CC 工場長 | 小 川 和 弘 | 8. 白井市環境課長 | 川 上 利 一（代理） |
| 4. 印西CC 施設班 | 副参事 土 佐 光 雄 | 9. 栄町環境課長 | 丸 彦 衛（代理） |
| 5. 印西CC 業務班 | 主 幹 長 沼 徳 雄 | | |

☆乙（27名中 17名出席）

- | | | | |
|----------------|---------|-----------------------|---------|
| 1. 小倉町内会 | 綿 貫 繁 男 | 15. 小倉台アビック21自治会 | 眞 田 通 |
| 2. 牧の木戸一丁目自治会 | 木 曾 修 | 16. ファーストスクエア小倉台団地自治会 | 高 橋 泰 |
| 3. 木刈三丁目町内会 | 中 村 吉 男 | 17. セカンドスクエア小倉台団地自治会 | ○欠席 |
| 4. 木刈四丁目自治会 | 大 原 勇 | 18. サードスクエア小倉台団地自治会 | 矢 澤 セツ子 |
| 5. 木刈五丁目自治会 | 吉 田 紀 子 | 19. 原山西町内会 | ○欠席 |
| 6. 内野町内会 | | 20. 木刈一丁目町内会 | ○欠席 |
| 7. 内野西団地自治会 | 内 田 豊 彦 | 21. ネット自治会 | 谷 口 浩 二 |
| 8. 内野東団地自治会 | 平 井 健 男 | 22. 高花二丁目北自治会 | 小 西 伸 明 |
| 9. 内野中央団地自治会 | ○欠席 | 23. ミッドホーム千葉桜台自治会 | 小 島 正 美 |
| 10. 内野南第二団地町内会 | 笛 吹 彰 悦 | 24. プロムナード桜台4番街自治会 | 多 田 育 民 |
| 11. 原山中央自治会 | 山 口 智 子 | 25. ガーデンハウス木刈自治会 | 小 田 俊 之 |
| 12. 原山町内会 | 原 澤 良 和 | 26. 大塚三丁目自治会 | ○欠席 |
| 13. 高花一丁目自治会 | ○欠席 | 27. コネクト原山町内会 | 御 山 英 子 |
| 14. 高花四丁目町内会 | 岩 井 邦 夫 | 28. 原山花の丘自治会 | 菊 池 雅 臣 |

☆傍聴者 1名

☆事務局 2名

会議次第

1. 開会
2. 議長選出（乙側委員）
3. 議事録署名人の選出
4. 議 事
 - (1) 印西クリーンセンター操業状況について
 - (2) 次期中間処理施設整備事業の進捗について
 - (3) 印西地区ごみ処理基本計画の策定状況について
 - (4) 自治会からの質問事項の回答について
 - (5) 平成30年度第3回環境委員会質問（未回答）事項について
5. その他
6. 閉 会

配付資料

- ・平成30年度第4回印西クリーンセンター環境委員会 次第、委員名簿、席次表
- ・報告事項1 操業状況及び公害防止協定等に基づく環境測定結果について
- ・平成30年度搬入車両数と搬出車両数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料1）
- ・印西クリーンセンター放射性物質に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・（資料2）
- ・次期中間処理施設整備事業の進捗状況について・・・・・・・・・・・・（資料3）
- ・印西地区ごみ処理基本計画の策定状況について・・・・・・・・・・・・（資料4）

- ・自治会側からの質問事項の写しについて・・・・・・・・・・・・・・・・（資料5）
- ・自治会側からの質問事項に対する回答書について・・・・・・・・・・・・（資料6）
- ・平成30年度第3回環境委員会質問(未回答)事項・・・・・・・・・・・・（資料7）

4. 議 事

議題（1）【印西クリーンセンター操業状況について】

表－1）平成30年11月～平成31年1月ごみ搬入量、焼却量

- ・平成30年11月のごみ搬入量は3,891トン（うち事業系 1,086トン）、ごみ焼却量は2,965トン。
- ・平成30年12月のごみ搬入量は3,947トン（うち事業系 1,095トン）、ごみ焼却量は4,534トン。
- ・平成31年 1月のごみ搬入量は4,073トン（うち事業系 1,217トン）、ごみ焼却量は3,630トン。

【平成30年度排出ガス測定、騒音・振動測定、悪臭物質測定、臭気濃度測定等】

表－2）①排出ガス測定

- ・有害物質（ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素）については、1号炉（測定日平成31年2月28日）、2号炉（測定日平成31年1月25日）、3号炉（測定日平成31年1月30日）、次回の報告とさせていただきます。

表－2）②排出ガス測定（ダイオキシン類）

- ・ダイオキシン類については1号炉（測定日平成31年2月28日）、2号炉（測定日平成31年1月25日）、3号炉（測定日平成31年1月30日）については、次回の報告とさせていただきます。

表－3）騒音・振動測定

- ・騒音・振動測定（測定日平成30年11月26日）についての測定値は、全て規制値、協定値の範囲内でした。

表－4）悪臭物質測定

- ・悪臭物質測定（測定日平成31年2月27日）については、次回の報告とさせていただきます。

表－5）臭気濃度測定（調査測定）

- ・臭気濃度測定（測定日平成31年2月27日）については、次回の報告とさせていただきます。

表－6）処理水の水質測定

- ・前々回報告済みです。

表－7）大気測定仮設局舎による測定

- ・前回報告済みです。

表－8）排ガス中の重金属測定

- ・排ガス中の重金属測定（測定日平成31年1月30日）については、次回の報告とさせていただきます。

表－9）ごみ質分析

- ・ごみ質分析（測定日平成30年11月28日）紙類41.8%、厨芥類16.6%、布類0.6%、草木類4.7%、プラスチック類28.9%、ゴム類0.1%、金属類1.1%、ガラス類0.1%、セト物、砂、石0.7%、その他5.4%です。水分36.0%、見掛比重が0.136kg/ℓ、低位発熱量については2,890kcal/kgでした。

表－10）気象測定結果

- ・気象測定結果は、騒音、振動の測定日の気象状況となっています。

【搬入車両数と搬出車両数】

（平成30年11月～平成31年1月搬入車両数）

- ・平成30年11月4,206台、12月4,555台、1月3,795台、4月から1月までの類計で41,432台、前年同期と比べ937台、2.31%の増となっています。

（平成30年11月～平成31年1月搬出車両数）

- ・平成30年11月146台、12月163台、1月150台、4月から1月までの類計で1,534台、前年同期と比べ152台、11.00%の増となっています。

【印西クリーンセンター放射性物質に関する報告】

資料の2をご覧ください。印西クリーンセンター放射性物質に関する報告ですが折れ線グラフの表示が限界にきましたので、ほぼ横ばい状態が始まった平成28年と平成29年のデータは割愛いたしました。

焼却灰の放射性セシウムの測定結果は、直近の1月で、飛灰が273ベクレル、主灰は43ベクレルでした。排ガス中の放射性セシウムの測定は月1回行っており、これまで検出されたことはありません。

続いて、20ページをご覧ください。レイアウトは19ページと同様で、こちらは平成28年8月から平成29年分のデータを割愛しました。

空間線量の推移について、印西クリーンセンターの敷地内と敷地境界、計9地点で週1回測定しており、そ

のうち第2地点、第3地点、第4地点、第6地点の4地点の月平均、東西南北というような意味で4地点の月平均を載せています。直近の1月時の測定平均で一番高いのは、西側第3地点の0.91マイクロシーベルトでした。ちなみに指定廃棄物の仮保管場所に一番近い地点が①となり、直近の1月時の測定平均値は0.096マイクロシーベルトでした。

続きまして、21ページをご覧ください。焼却灰の処理状況については、放射性物質の測定結果より基準値8,000ベクレル以下を確認し、印西地区一般廃棄物最終処分場へ埋め立て処理をしています。平成30年度1月末現在の搬出先及び処理量については記載のとおりであります。また、当初発生した基準値を超えた指定廃棄物は、一時保管を継続しています。

【質疑応答】

[乙委員]	11月に炉を停止し、定期点検を実施しているが、その点検結果は
[甲委員]	毎年実施している定期点検ですが、点検による軽微な修繕及び消耗品の交換を実施しています。点検結果については、緊急性が無ければ長期的な管理の中で対応いたします。
[乙委員]	17ページ（搬入車両数と搬出車両数）の項に、最終処分場への搬入と、資源物量を記載し、更に最終処分場の容量及び既埋立量を追記してほしい。
[甲委員]	記載方法を検討いたします。

議題（2）【次期中間処理施設整備事業の進捗について】

資料23ページの資料3をご覧ください。建設予定地及びアクセス道路の進捗状況についてご報告いたします。

初めに、1建設予定地の進捗状況（1）用地買収等の状況ですが、26,125平方メートル、33筆、計画している全ての買収が完了しました。次に（2）物件補償（井戸、立木竹）についても全ての補償が完了しております。（3）建設予定地内の埋蔵文化財調査業務ですが、11月に契約をしまして、平成32年度までの3カ年をかけて業務を進めるということになっております。現地での確認調査が終了し、本調査の範囲を協議しているところです。

2アクセス道路の進捗状況についてですが、用地の取得に向けて、用地測量、予備設計、不動産鑑定、物件調査業務を実施しているところで、各種の業務が計画通り進められていることをご報告させていただきます。

【質疑応答】

[乙委員]	アクセス道路のルートは決定しているのか。また用地買収はいつ行うのか。
[甲委員]	ルートは決定し、平成31年度の取得に向けて、測量、設計、不動産鑑定などを進めております。
[乙委員]	地元からの要望に対する対応は。
[甲委員]	域振興策の実現に向けて、地元と毎月会議を行いながら、基本計画に沿ったかたちで協議しているところです。
[乙委員]	市道に対する進捗状況は把握しているのか。
[甲委員]	印西市担当課と会議をもち、市道事業の進捗状況や同一地権者の状況などを把握して事業をすすめております。

議題（3）【印西地区ごみ処理基本計画の策定状況について】

資料24ページになります。印西地区ごみ処理基本計画の策定状況についてご説明をいたします。

計画については、検討委員会を4月から7回開催し、1月20日に答申を受けております。印西地区ごみ処理基本計画の決定手続きを進めており、3月中にホームページ等で公表することとしております。

計画の概要ですが、2033年度を目標年度とし、計画期間を15年間としています。これまでのごみ処理の中で課題が出ております。ごみ処理量は、人口等の増により、家庭系可燃ごみが増加しています。事業系可燃ごみについても、年々増加している状況があります。また、現クリーンセンターについては操業から年数がたち、施設の老朽化も課題となっております。このような課題を踏まえ、ごみ処理基本計画の内容になりますが、基本理念として「みんなで作る循環型社会」～環境への負荷をかけない地域を目指して～という基本理念といたしました。基本方針を3つ掲げ、1つ目が継続可能な循環型社会の構築、2つ目が適正な循環型ごみ処理の推進、3つ目が住民・事業者・行政が協働で作る循環型社会という方針を定めております。

目標として4つ掲げています。1番目が年間の総ごみ排出量を4万6,780トン以下、2番目として、家庭系ごみの排出原単位、1日1人当たりの排出量ということで406グラム以下、3番目として収集・集団資源物の排出

量原単位ということで112グラム以上、それから4番目として事業系ごみの年間排出量を1万1,606トン以下ということで、15年後の目標を立てて計画を作成したところです。

次に主な取り組み内容ですが、①ごみ排出量の削減として、近年叫ばれております食品ロスを減らすということなどを幾つか項目を掲げて、排出量の削減に取り組みます。②ごみの分別、リユース、リサイクルの推進などのいわゆる3Rの推進を掲げております。また、今回は10年後に建設を予定しています次期中間処理施設計画を再考しています。施設の規模については、既に計画を策定している施設整備基本計画において、1日当たり156トンの処理能力の施設規模を見込んでおります。この検証を含めまして、今回のごみ処理基本計画のごみ処理推計量から、どのくらいの処理能力が必要かを検討しました。本計画では156トンと同規模の処理能力が必要であることを確認しているところです。

本日は、時間の都合により、計画案の内容については詳しくご説明できなくて申しわけございませんが、内容を組合のホームページに掲載しておりますので、ご覧をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【質疑応答】

[乙委員]	一人当たりの1日のごみ量を目標年度までに406g減らすとなっているが、実際には厳しい目標ではないか。具体的にはどう減量するのか。
[甲委員]	排出量の削減として食品ロスや事業系ごみの削減など、また分別やリサイクル・リユースの推進などアクションプランを掲げており、市町と具体的な実施計画を検討します。
[乙委員]	この計画には次期中間処理施設も含まれての計画か。
[甲委員]	はい。
[乙委員]	取組内容のごみについて考えると具体的な何か。
[甲委員]	ごみについて理解していただくことが重要であることから、広報や見学会等で住民に説明し、構成市町と協力しながら3R、資源化及び減量化について取り組む意識の啓発を進めていきます。
[乙委員]	マイクロプラスチックの海洋汚染が新聞等で問題になっている。基本計画には載っているのか。次期中間処理施設での対応は。
[乙委員]	マイクロプラスチックについては、まだ国の方針が示されておらず基本計画でも国の方針より進めていくこととしています。また、次期中間処理施設についても法令に基づいた運用となります。

(4)【自治会からの質問事項の回答について】

質問1. 環境は指定廃棄物の指定解除のルール件について

- (1)平成30年12月20日環境大臣に要望書を提出しているが進捗はあったか。
- (2)平成30年度第3回環境委員会において質問の回答があったが、各質問項目でその後の進捗状況は。
- (3)指定廃棄物の保管に関する情報公開に関する検討の進捗状況は。環境省との協議の進捗状況は。

【回答】

- (1)従来通り指定廃棄物の最終責任は国という考えに変更はありません。県内に設置する長期管理施設を早急に確保すべく、今後も千葉市との交渉を進める予定である旨を聞いております。
- (2)平成30年度第3回環境委員会懸案事項の回答については、資料7の通りとなります。
- (3)指定廃棄物の保管については、HP「放射能等の測定結果について」で公表しております。また、指定廃棄物管理業務として、ドラム缶の再梱包及び積替えの予算を確保しましたので、平成31年度上半期実施に向けて環境省への手続きを進めています。決定次第、HPで公表いたします。

【質疑応答】

[乙委員]	ドラム缶の積み替えには危険はないのか。その際は周辺の住民に周知するのか。
[甲委員]	現状のまま梱包するので中身が飛散する心配はありません。また、危険を伴う作業では無いので事前に周知はしませんが、対応方法についてはHPで公表いたします。

質問2. 水銀対策の必要性について

平成30年度第3回環境委員会における回答で、水銀は手分析で行う方針が表明されたことに対して、「水銀自動計測器の採用をしないことを組合として決定してほしい」という要望がだされたが、組合は(水銀自動計測器)を設置しないという形で管理者に提案し、判断をいただくということを言明されたが、その進捗状況は。

【回答】

平成31年度予算説明の際に排ガスの水銀測定について、法令根拠や経費等を正副管理者に説明した結果、組合の方針として水銀自動計測器を設置せず、法令に従い手分析で実施することとします。

【質疑応答】

[乙委員]	東京都清掃組合では水銀自動測定器を設置している。管理者に詳細を説明したのか、今後自動測定器を設置するところはないのか。
[甲委員]	水銀測定については、平成31年度予算説明の際に排ガスの法令に基づき手分析で実施することになりました。また、自動測定器については今後、法令の改正や社会情勢の変化があれば対応いたします

質問3. 表8)排ガス中の重金属測定(調査測定)の測定方法について

平成30年度第3回環境委員会における回答では、排ガス中の水銀の協定値について、速やかに協議が始まるものと想定していたが、そのようなスケジュールになっていない理由は。

【回答】

昨年末に住民側代表3名と水銀に関する協定値を決定すべく、打合せを行いました。代表3名の間でも異なる協定値を主張されることから物別れに終わりました(30と50で主張が分かれる)。

引き続き2回目の打合せを検討しましたが、同様な結果となる可能性が高いことから、先に組合側の協定値案 50 $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ を示しました。

また同時にばいじん他4項目に関する1,2号炉と3号炉に関する協定値案も示したところであります。

組合側から提示させていただいた当該案に対し、代表者3名以外からも、さまざまなご意見が出ている旨は聞いておりますが、是非とも住民側での協定値案の取りまとめをお願いしたいと思います。

その協定値が組合提示案と相違が出た場合は、改めて3名との協議と考えております。

【質疑応答】

[乙委員]	住民代表に協定値(案)のメールが送られてきたが、事前の説明が無かった。今後は代表との協議は、行わないのか。県内の3施設で水銀の基準が30 ($\mu\text{g}/\text{Nm}^3$) としていると聞いたが理由は何か。
[甲委員]	水銀については、国から50 ($\mu\text{g}/\text{Nm}^3$) の基準値が示されています。当組合としては、協定値の根拠となるデータが他にないことから協定値案を50で提示いたしました。前回の打ち合わせでも代表者3名の意見として「50と30」がありました。まずは住民側の協定値(案)の数値をまとめて頂いて、組合協定値(案)と相違が出た場合は、代表者の方との協議と考えております。なお、環境委員の任期が3月で終了することから、新しい委員から代表者を選んでいただき、進めていければと思います。 また、県内3施設の基準値が30となっていることについてですが、水銀の基準値が法令として施行される以前から30とされており、この環境委員会と同様な組織で決定しているとのことでした。
[乙委員]	1号炉、2号炉と3号炉の協定値を変えた理由は。
[甲委員]	当クリーンセンターを運転委託している業者に問い合わせ(案)を作成しました。
[乙委員]	法的根拠はないのか
[甲委員]	はい。
[乙委員]	法的根拠はないのであれば(案)を取り下げてください。
[甲委員]	(案)を取り下げます。

質問4. 工事完了と引渡し試験の結果の件について

平成30年度第3回環境委員会における回答で、「保証基準(メーカー)条件有り」とされ、引渡性能では設計時の基準ごみに対して保証しているとされているが、設計時の基準ごみを準備して引渡性能を行ったことか。また、その他の項目でも同様な条件で行ったか。もしそうであれば、報告書にそのように記載すべきである。

【回答】

炉を設計する上での基準ごみは用意出来ませんので、引渡性能試験は、その時のピット貯留ごみを使用し、保証基準値以内の結果が得られました。

HPのメーカーからの報告書には、その時のごみ質(低位発熱量)を記載しています。

【質疑応答】

[乙委員]	設計の基準ごみではない物のデータで保証されるのか。
[甲委員]	設計上の基準ごみでの引渡し試験は不可能であり、現況に有るごみでの試験結果で判断しています。
[乙委員]	基準ごみへの換算係数はないのか。
[甲委員]	メーカーに確認します。なお、計画ごみ質と実測値の比較表はHPに記載します。

質問5. 一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録について

平成30年度第3回環境委員会における回答で、次の環境委員会までに調査する事項の進捗状況は。

【回答】

両検査の結果については、多くの情報量となり、全体を掲示することは難しいので、閲覧で対応しています。報告書中の結果項目のうち、機能検査の抜粋の写しを住民側代表者へ渡しましたので、ご検討願います。

【質疑応答】

[乙委員]	検査結果については、環境委員に資料として配布するべくではないか。
[甲委員]	機能検査と精密機能検査については、多くの情報量となり、全体を掲示することは難しいので、閲覧で対応しています。資料の閲覧は平日でしたらいつでも可能ですので、必要な方はご利用下さい。

質問6. 表-1)平成30年度月別ごみ搬入量及び焼却量等の操業状況について

平成30年度第3回環境委員会で、「炉を起動するときは焼却するごみに白灯油を使用することになっているが、灯油使用量等は以下の通りと認識している。燃料費と二酸化炭素の排出量が不明である。(不明を正しい数値に)

年度	年間使用量	立上回数	1立上当りの使用量	燃料費	二酸化炭素排出量
29	40.57kℓ	12	3.38kℓ	不明	不明
28	49.19kℓ	15	3.28kℓ	〃	〃
27	44.37kℓ	15	2.96kℓ	〃	〃
26	41.88kℓ	16	2.62kℓ	〃	〃

に対して燃料費と二酸化炭素排出量の回答があったが、1立上当りの使用量が増加していることへの回答が明確ではなかったため、回答を求める。(前回の回答書では「1立上当りの使用量」の記載が「ℓ・m³」と誤記されている)炉の立上回数を少なくするための対策があるように思われない。

【回答】

年度	年間使用量(kℓ)	立上回数	1回当たり立上げ使用量(kℓ)	二酸化炭素排出量(t-CO2)
26	41.88	16	2.6 (41.88/16)	104
27	44.37	15	2.9 (44.37/15)	110
28	49.19	15	2.6 (39.19/15)	122
29	40.57	12	2.5 (30.57/12)	101
30	32.50	12	2.7 (32.50/12)	81

*30年度は4月から12月まで

平成28年度、29年度は基幹改良による炉の乾燥焚きによって約10kℓ灯油を多く消費しましたので、通常より年間使用量が増えています。立上げに使用する灯油使用量は、炉及び季節によって異なりますので、簡単に比較出来ませんが、概ね1回当たり2.5～3kℓです。

質問7. 平成30年度第3回環境委員会の会議録の記載の件について

平成30年度第3回環境委員会の会議録で12ページ「質問10 機能検査と精密機能検査の実施状況について 平成30年度第2回環境委員会における回答で、次の環境委員会までに、調査及び検討するとした件の進捗状況は。」とあるがこれは誤りではないか。正しくは、「印西地区環境整備事業組合 HP 環境委員会だよりの平成30年度第1回環境委員会「その他の資料」のデータ差し換えについて・・・である。

【回答】

平成30年度第3回環境委員会の会議録の12P 質問10については、第3回環境委員会第2回質問10を誤記載してしまい申し訳ございません。質問10は「印西地区環境整備事業組合HP環境委員会だよりの平成30年度第1回環境委員会「その他の資料」のデータ差し換えについて」と訂正させていただきます。

今後はチェック体制を徹底してまいりますので、ご理解下さるようお願い申し上げます。

【質疑応答】

[乙委員]	以前も同様なことがあった。チェック体制はどうなっているのか。
[甲委員]	今回の件については、チェックが十分ではなく、誤記載をしてしまい申し訳ございません。 確認作業を再度見直し、誤りの無いよう進めてまいります。

議題（５）平成30年度第3回環境委員会質問（未回答）事項について

資料7の質問1、質問2、質問3、質問6、質問7及び質問9については、今回の住民側からの質問と同様の内容ですので、説明を省略させていただきます。また、質問4一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録の様式変更（焼却日、水銀等）記載及び質問5一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録（排ガス）の適正な公表日については、当組合ホームページにて12月より様式を変更して公表しております。

[事務局] それでは、以上をもちまして平成30年度第4回環境委員会を閉会いたします。

本日はお忙しい中ありがとうございました。